事務事業マネジメントシート（令和 7年度実績と令和 8年度計画）

令和 8年 5月13日更新

事務事業名	合志市地域公共交通計画実施事業	☑安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 ☑「こどもまんなか社会」の構築 ☑産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系 政策	5 都市基盤の健幸	所属部	市長公室	課長名	末永
施策	22 公共交通の充実	所属課	企画課	担当者名	服部
業務分野	66 公共交通の利便性の向上	所属班	企画広報班	（内線）	1255

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	2	1	11	11465	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法

終了、開始年度	□ 7年度で終了 □ 7年度から開始	事業期間	□単年度のみ ☑単年度繰返（開始年度 21 年度） □期間限定複数年度（ ～ 年度）

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 （開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む）	実証実験の結果、平成24年度からレターバス、循環バス（2路線）、乗り合いタクシー（3路線）、および予約型乗り合いタクシーを本格運行とした。また、平成30年3月より東西線を実証実験として運行している。 平成27年度に、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき策定した「合志市地域公共交通網形成計画」に基づき、次の地域公共交通網を構築する。① コンパクトシティの実現に向けたまちづくりとの連携。② 地域全体を見渡した面的な公共交通ネットワークの再構築に寄与する。令和2年10月から路線再編を行い、レターバス（3路線）と乗合タクシー（5路線）で運行している。令和6年度に利用分析を行い、コミュニティ交通の再編に向けた利便増進計画を策定した。 令和6年度より、次の事業を統合する。・合志市地域公共交通協議会運営事業（1463）・ＪＲ光の森駅駐輪場維持管理支援事業（11467）・パーク＆ライド事業（11468）・熊本電鉄安全輸送設備等整備協会参画事業（11587） 令和7年10月に路線再編を行い、レターバス（4路線）、乗り合いタクシー（定時定路線1路線、予約制2区域）で運行している。
【業務の流れ】	合志市公共交通計画に基づき、コミュニティバス運行業務や、レターバスおよび乗り合いタクシーの再編後の利用状況の分析、並びに利用促進策の審議を行う。利用促進策として、各地区への出前講座等による説明を実施する。また、コミュニティバスの運行管理（事業者による実績報告や協議会への経過報告など）および実績に基づく運行委託料の支払事務も行う。
【主な予算費目】	職員手当（時間外勤務）、需用費、役務費、委託料

(1)事務事業の振り返り・計画

① 7年度事務事業の成果・実績

コミュニティ交通（レターバス、乗り合いタクシー）の運行委託契約および支払い事務を行った。
また、市ホームページや広報紙での周知啓発のほか、マイ時刻表の作成・配付などを通じて各地域の住民グループへ赴き、利用促進の啓発を行った。また、10月の路線再編に伴い、各地で説明会を開催した。

② 8年度計画（次年度に計画している主な内容）

引き続き、コミュニティバスの運行や再編実施計画に基づく利用状況の分析、バス停環境整備、乗降カウントシステムの分析を行う。また、市民に向けた周知啓発活動も継続して実施する。

③予算の主な増減の理由

備品購入費の減

成果指標			(単位)	データ取得方法
⇒	ア	コミュニティ交通の利用者数	人	
	イ			
	ウ			

(2)成果指標・総事業費の推移

			単位	5年度 実績(決算)	6年度 実績(決算)	7年度 目標(当初予算)	7年度 実績(決算)	8年度 目標(当初予算)	9年度 予定	10年度 見込	11年度 見込
成果指標		ア	人	86,639	88,375	89,700	90,015	91,200	92,800	93,000	93,400
		イ									
		ウ									
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			7,500			15,000		
		都道府県支出金	千円	7,110	9,574	7,110	10,331	9,574	8,000	8,000	8,000
		地方債	千円								
		その他	千円	5,718	8,035	2,078	68,529	9,065	1,600	1,600	1,600
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	96,949	108,591	192,835	106,722	90,808	132,074	97,894	97,714
	(A) 事業費計		千円	109,777	126,200	209,523	185,582	109,447	156,674	107,494	107,314

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

さらなる公共交通利用者の増加につなげるため、市民ニーズに合わせた路線網の構築および更なる周知啓発活動が必要であると考えられる。
今後も利用促進および利便性向上への取り組みを実施していく。

(4)今後の事業の方向性

□廃止 □縮小 □事業のやり方改善 ☑現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）